

# 令和5年度第1回嘉麻市立図書館協議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和5年度第1回嘉麻市立図書館協議会
2. 開催日時 令和5年7月21日(金曜日)午前10時30分～11時50分
3. 開催場所 嘉麻市役所 碓井総合支所 2階 会議室4
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者
  - (1) 委員
    - ・下川和彦会長・江藤さよ子副会長・森弘成委員・安藤裕子委員・中島暁子委員
    - ・和田君子委員・春口香委員
    - (欠席)・・・山口希代子委員
  - (2) 執行機関
    - ◎ 生涯学習課
      - ・教育長 木本寛昭・課長(館長) 末永康洋
      - ・課長補佐(兼図書・美術館係長) 上野智裕・主査 有江俊哉・主査 藤原千晶
    - ◎ 指定管理者
      - ・統括責任者 下田富美子・チーフ 藤本あすか
6. 傍聴人数 0人
7. 議題
  - 1) 令和4年度事業報告について
  - 2) 令和5年度事業計画及び進捗について
8. 審議の内容  
(会議録の確認者の決定) → 江藤委員に決定
  - 1) 令和4年度事業報告について・・・原案のとおり承認  
事務局(指定管理者)から、資料1に基づき補足説明を行った。  
(説明要点)  
**指定管理者より**
    - ・統計については、比較を容易にするためにも、自治体運営時と同じ形式で作成している。
    - ・蔵書構成については、自治体運営時と同様、資料種別ごとのバランスを考慮しながら資料購入を行っている。令和4年度の指定管理者制度導入と同時に、資料購入予算が増額した関係により、図書や視聴覚資料において、全体的に資料数が増加している。
    - ・利用数の推移については、令和4年度以降少しずつイベントも再開できるようになっており、利用者も徐々に図書館に戻ってきているように感じる。
    - ・移動図書館車の利用数が少ない状況にある。

・予約・リクエスト件数においては、嘉穂図書館の件数が著しく多いのは、図書館の予約サービス等を使いこなす利用者が多いことから、数が増加している。予約を多用される利用者がどこの図書館を利用されるかによって、件数に違いが生まれることがある。

・レファレンス件数は、簡単な所蔵調査等についても計上しており、令和3年度と比較するとカウンターで声をかける方が増えてきたようだ。

・相互貸借数は、福岡県内において市外図書館と連携協力して、借受・貸出を行っている実績数である。

・インターネット利用者数や視聴ブース利用者数は、大きな増減が無い。

・おはなし会の平均参加者数は、前年度と比較してほぼ増減に変わりが無い。令和5年度以降は、少しずつ増加している手応えを感じている。

・お出かけプロジェクトは、関係部署や施設等からの要望に合わせて、事前打合せの上、図書館スタッフが訪問する事業である。現在のところ、公民館事業や土曜未来塾に派遣するケースが多い。

・学校ブックトーク派遣は、残念ながら1校のみ実施した。事前に学校側からテーマの希望を聞き取りし行った。

・職場体験については、従前から中高生を受入するケースが多かったが、今回は小学生2年生から要望があり、受入れした。読み聞かせや窓口業務等の図書館業務を体験してもらい、参加した子どもたちに好評だった。体験後は、学校での学習成果の発表に繋がった。

・特集展示については、日頃出会わない本に出会って欲しいという思いで開催している。コラボ企画としては、里親制度を支援する団体とがんの子どもを守る会と連携した。様々な本や情報を市民に提供することで、人に優しいまちづくりに繋がりたいと考えている。

・雑誌タイトル一覧については、各図書館での重点収集や利用状況を鑑みて、配置や複本購入を検討している。

・図書資料等紛失等状況については、市内4図書館で活動している割には、弁償の処理数は多くないと思われる。

・図書館の活動は、全ての事業等を指定管理者のスタッフで企画・実施しているが、市の各種計画にも沿いながら、様々な年齢層の市民の方に、少しでも楽しみや学びがあるような働きかけが出来ればと思う。事業目的を決め、スタッフ間で共有しながら、利用者がどのように学びを受取ってくれるのかということ念頭に置いて、場を提供している。

(質疑)

**委員：**視聴覚資料の一覧は図書館に備えているか。例えば、高齢者向けに何かを借りたいと思っても、何を借りたらいいのかわからない。ネットを利用するのが不慣れな場合は、調べる時はどのようにしたら良いか。

**事務局：**新着資料が届いた際には、新着一覧を印刷し、利用者が閲覧できるようにしている。ご指摘のどおり一覧を設置すると、膨大な印刷枚数となるため、図書も同じく、所蔵一覧は備えていない。資料を調べたい時は、電話、またはカウンタ

一にて、探したい内容をスタッフに伝えていただければ、スタッフが対応する。

**委員**：市民一人当たりの蔵書数はどのように算出されているか。

**事務局**：図書館の蔵書数を人口で割った数である。

**委員**：図書館の蔵書は、ある程度年数を経過すると廃棄になるのか。また、以前、図書館で利用した本が廃棄されたように見受けられる時がある。再度借りたい時は利用者としてどのように対策すれば良いか。

**事務局**：一般的な資料では受入から最低10年以上、郷土資料や参考資料等は保存年限に関わらず保存する等、除籍については内規に基づいた対応をしており、除籍後は譲渡会を企画し、リサイクルできるようにしている。過去に貸出した書名等の履歴は、図書館システムでは保存しないが、カウンターや電話で図書館へ問い合わせただければ探したい本の情報を元に調べることができる。その他、読書手帳の記録や図書館ホームページへのログイン後に貸出履歴が保存できる機能があり、以前利用した資料を振り返ることができるような手立てについても活用していただければと思う。

**委員**：「お出かけプロジェクト」は、子どもや保護者を対象にしたおはなし会やブックトーク等を行っているのか。大人の参加者数としては、保護者が含まれているのか。

**事務局**：公民館事業や学校教育課主催事業等において、図書館スタッフを派遣し、おはなし会やブックトークを行っている。主に子どもを対象としているが、大人の参加者としては、引率やボランティアの方が含まれている場合が多い。

**委員**：利用登録状況の数の出し方は、図書館によって、累積数、または有効登録者数、一年間の新規登録者数を出している等、図書館によって計上に差異がある。嘉麻市の場合どのようにカウントしているか。また、登録の切り替えや更新等はされているか。

**事務局**：実質利用の有無に関わらず、登録の累積数で算出している。また、現在のところ、登録の切り替えや更新は予定していない。

**委員**：ここ数年、新型コロナウイルスの感染拡大や自然災害による臨時休館もあったが、開館日数の記録を残しておいた方が良いと考えるが、記録はとっているか。

**事務局**：図書館年報には記載していないが、事務局として開館日数の実績は把握している。今後作成する図書館年報については、開館日数を明記する方向で考えたい。

**委員**：インターネット利用者数は、利用者自らインターネット利用ができる端末を備えているということか。

**事務局**：そのとおり。端末数については、山田図書館が4台、稲築図書館が1台、碓井図書館が2台、嘉穂図書館が3台である。

**委員**：サービス指標の内、登録者一人当たりの貸出冊数はあまり有効で無いと感じる。貸出冊数を貸出者数で除する数を算出する方が、利用の実態を分析しやすい。ここ約10年ほど、全国的に1回当たりに借りる冊数は減少しており、サービス計画を考える上で、後者のサービス指標の方が有効だと考える。

年報の掲載でなくても、今後のサービス計画に活かすために図書館内で把握してもら

えば良いが、ぜひ、年代別利用数を把握してほしい。図書館における高齢者層の利用がいかに多いかということが如実に表れている。70代以上の方々が図書館を利用しやすいようなサービスの在り方を検討する必要がある。

**事務局**：統計資料として、年代別利用数は図書館システムから出力できる。

**委員**：レファレンス件数は、電話・口頭・文書で分けられているが、メールやFAXでの受付はどうしているのか。

**事務局**：現在のところ、メールの受付は今のところ実施していないが、稀にメールで直接ご連絡いただくこともある。文書については、主にFAXでの受付が中心である。

**委員**：図書館資料の予約受付は、来館で紙の申込み書で申請のみとなっているか。また、貸出中のみとしているか。

**事務局**：図書館ホームページでの予約受付可能。在架している資料の予約も可能である。

**委員**：学校に対する取組を工夫してもらっていることが報告書を見ていと伝わってくるが、学校への案内はどのようにしているか。学校サイドとしても事業が広まっていくように働きかけをしたいと考えている。

**事務局**：年度当初、校長会において職場体験等の案内を行っている。また、今年度から市内の各学校に対して、図書館と学校の連携に関するガイドラインを配布しているところである。より周知できるように、下半期以降に事務局から案内できるように工夫したい。

## 2) 令和5年度事業計画及び進捗について・・・原案のとおり承認

事務局（指定管理者）から、資料に基づき補足説明を行った。

（説明要点）

### 指定管理者より

・事業計画の予定については、美術館とのコラボ事業を追加しているが、大きな変更は無い。

・事業の進捗については、毎月実績を積み重ねて記録を取っている。今回の進捗報告は6月末までの実績であるが、7・8月以降から、少しずつ図書館行事の参加も増えてきているように感じている。

・山田図書館でボードゲームの取組を開始した。日頃図書館に来館する機会の少ない小学校高学年から中学生の児童・生徒の参加があり、開催後にも図書館利用に繋がった。読書活動に繋がられるような働きかけも行いながら、定期的な事業開催を継続したいと考えている。

・謎解きイベントとして、郷土の絵本作家である石川えりこ氏の著作である絵本「ほんやねこ」を題材にした塗り絵やクイズを配布し、子ども達が楽しみながら参加できる内容となった。

・「ひゃっか王からの挑戦」と題して、百科事典を調べてクイズを解く取組も行った。楽しみながら読書につながるような働きかけを意識しながら開催した。

### 生涯学習課より

・指定管理者導入から2年目を迎えた令和5年度から、指定管理者のメリットを活かした新たな取組や今まで無かった図書館サービスが展開されることを期待しているところである。

(質疑)

**委員**：子ども向けの行事に参加した家族から、帰宅後に「とても楽しかった、また参加したい」という感想をよく聞いている。行事に参加することで、図書館で学習したり、読書に親しんだりしているようだ。とても良い取組をされていると思う。

**委員**：お金の講座は、講師はどのような方を招聘しているか。図書館からは本の紹介等を行っているのか。

**事務局**：講師は、福岡県金融広報委員会に依頼して、金融広報アドバイザーを紹介してもらい講師依頼している。併せて、同会が発行するパンフレットの配布や図書館所蔵のお金に関する本を紹介している。

**委員**：ボードゲームイベントは、非常に良いイベントだと感じたが、開催の折には、本の紹介や本のリスト配布、ブックトーク等も行っているか。

**事務局**：ブックトークは未着手だが、ゲームに関連した本の紹介やリスト配布を行っている。

**委員**：上野千鶴子氏の講演会は、主催が男女共同参画推進課で、会場が夢サイトかほということだったのか。図書館としては、何か資料展示等行ったのか。

**事務局**：そのとおり。男女共同参画週間の前後を含めて長期に亘り、上野氏の著作も含めて、図書館にて特集展示を行った。

**委員**：石川えりこさんの関連事業としては、美術館でも展示会があったのか。

**事務局**：織田廣喜美術館の開館20周年事業として、石川えりこ回顧展を開催した。また、石川えりこさんの原画を嘉麻市に提供していただいたり、図書館流通センターでSNS開設に伴うアイコンに使用するイラストも、石川えりこさんの絵を使用させていただいている。

**委員**：平成30年度の図書館協議会において、図書館基本計画について諮問を受け、答申した経緯がある。以前、稲築図書館を義務教学校施設内に設置する方針が出された過去もあるが、今後の稲築図書館について、現在どのような状況であるか確認したい。

**事務局**：現在は、稲築地区公民館の中に稲築図書館を設置している。令和7年度までに新しい建物に建替える方針である。図書館機能を有する公民館という位置づけについては変わりないところで計画している。今後、基本設計に着手するが、地域の皆様方のご意見を聴取しながら進めていきたい。実際に意見聴取委員会を立上げており、合意形成を図りつつ可能な限り地域の意見を反映する形で進めていきたい。現在の稲築図書館の環境よりも、改善されていく予定である。一方でご指摘のとおり、平成31年度に図書館基本計画を策定し、新しく建設される学校施設の図書館エリアの中に公共図書館も設置していくという内容も盛り込んでいた。今後、市内の児童数も少なくなり、地域の状況も変化してくる中で、地域に開かれた学校という意味におい

て、方向性に変わりはない。学校図書館の中に公共図書館的な機能を位置づけながら、一般の方にも利用していただけるような開かれた学校を目指していくということについても変わりない。答申いただいた基本計画の方針は変わるものではないが、今後の社会情勢も加味しながら実情に応じた図書館計画を随時変更していかねなければならないことも予想される。その折には、図書館協議会の中で皆様のご意見を伺いながら適切に判断していきたい。

**委員：**特にここ数年、新型コロナウイルスの感染拡大や指定管理者制度の導入も経て、図書館として多様な要素があり、年報の数字を多面的に分析していく必要があると思う。現在提示されている年報では状況を把握しづらい面がある。数字の実績だけでなく、図書館のあゆみ（経過）の記載を含めて図書館の状況を捉える必要があると考える。少なくとも、協議会の資料としては、その点も踏まえて協議する必要があると感じる。年報の中に掲載しない際は、図書館ホームページ等に掲載するという方策でも良いと考える。

**事務局：**特に令和2年度から令和4年度の新型コロナウイルスの影響については比較も難しい面があり、あゆみについては、図書館年報の中で掲載していく必要があると考える。実績数の変化に対する注釈や考察等も含め、行政側と指定管理者側で十分な協議を行った上で、より良い年報にできればと思う。

**委員：**移動図書館車が小学校に運行する際、車の中の通路に本を入れたコンテナが置いたままで、子どもたちが本を閲覧している状況があるようだ。下段の書架の本を取り出したりするのが難しい場合があることを児童より聞き及んでいる。雨天以外は、コンテナを屋外に出して、車内の本を取りやすくできるように工夫できないか。

**事務局：**雨天以外は、基本的にコンテナを屋外に移動するようにしているところだが、指定管理者の方で状況を確認するようにしたい。

**委員：**図書サークルの中で、地域の民話を残していくような取組について、検討課題としてあがっている。民話を形に残す必要があると感じているが、子どもたちに広めていくために、どのような方策があるか。

**事務局：**以前、嘉麻市議会においても民話の重要性について市議会議員より一般質問があった経緯がある。生涯学習課文化財係の中で、民話の保存・継承について取組しており、各地域の民話の動画作成に着手している。今後、学校で児童・生徒に配布されているタブレットで、いつでも視聴できるように取組しているところである。

**委員：**現在、学校で行っていた読書ボランティア活動が休止状態であるため、サークルで制作している郷土の民話の大型紙芝居を使う機会も減っていることから、他団体等にも貸出ししたいと考えている。何か活用する機会あれば声かけしてほしい。

**事務局：**6月度校長会の中でも、市内図書ボランティアサークルの活動再開について案内をしている。今後、大型紙芝居についても機会を捉えて、案内を行いたい。

3) その他

・ 図書館および美術館の行事案内

○ 第1回嘉麻市図書館を使った調べる学習コンクール

○ ライブラリー・サマー・フェスタ2023

○ 美術館企画展示「栗林慧の眼」

9. 配布資料

・ 令和5年度第1回嘉麻市立図書館協議会次第

・ 令和5年度嘉麻市立図書館協議会委員名簿

・ 資料1 令和4年度事業報告

・ 資料2 令和5年度事業計画及び進捗について

上記に相違ないことを確認する。

令和5年8月14日

会議録確認者

江 藤 さよ子

---